

広報 なかやま

実りの秋

なかやま保育園
さつまいも掘り体験
(10月7日)

2016
11
平成28年
No.746

今月の主な内容

- 納得解決！広聴制度 P2~9
- 健康と福祉のフェスティバル P10~11
- お知らせ版 P20~25

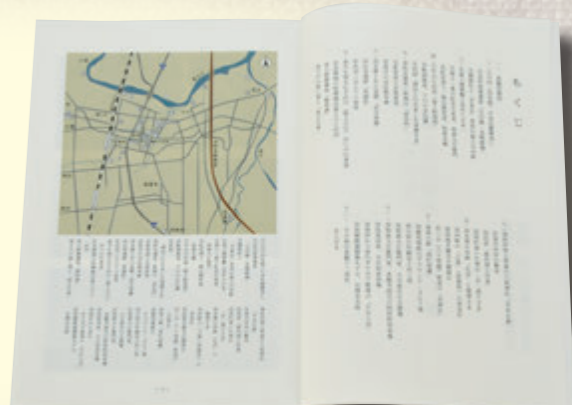
町の魅力を再発見！

中山町には、魅力的な場所やもっと知って欲しい良いモノなどたくさんあります。このコーナーでは、そんなまちの魅力をお知らせしていきます。

Vol.4
I アイランド
中山

最上川 生活と結びつき文化を形成

町内各地に伝わる最上川と人々との関わりを中山町郷土研究会がまとめる



A4サイズ、12ページにまとめられています

今も昔も親しまれる川

中山町は、かつて最上川舟運で栄え、山形の秋の風物詩「芋煮会」は、その船頭たちによって始められたものと言われています。

現在も河川敷は、釣りや散歩、休日ともなれば多くの方がスポーツを楽しむ、秋には芋煮会をする人々で賑わいを見せるなど、最上川は私たちの生活に大変密着しています。

中山町郷土研究会が最上川を巡る冊子を発行

「我が町は、『中山町民歌』に『紅花摘みの乙女をうつし、流れゆく最上の水よ』といった歌詞があるなど、最上川と盛衰をともにしてきたと言っても過言ではなく、密接な関係にある最上川と町の関わりについて、多くの人に知ってもらいたい」との想いから、中山町郷土研究会（横尾尚寿会長）では、町と最上川の関わりをまとめた冊子「中山町における最上川の歴史・文化

的景観」を編集・発行しました

内容は、最上川で2つの村を行き来し、流行病を治したとされる達磨に関する民話「酒田と行き来した達磨さま」や、現在のひまわりグラウンド・ゴルフ場のある所はかつて「満州グラウンド」と呼ばれ、昭和初期には競馬が開催されていたというような、あまり広く知られていない話など、最上川にまつわる民話やゆかりのある文化財などについて、写真付きで解説しています。

同研究会では当初、150部を作成し町内外の関係者に送付しましたが、その後も追加発行の要望を受け、100部を増刷しているとのこと。町内では、町立図書館ほろわ館で閲覧できるほか、中山町情報物産館023でお買い求めいただけます（税込み600円（数量限定））。大変興味深い内容となっていますので、ぜひご覧いただき、また、気になる箇所には実際に足を運んでみてはいかがでしょうか。

スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

お知らせ版 平成28年11月15日号
（毎月15日発行） （毎月1日・15日発行）

発行 中山町 〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地
編集 政策推進課地域情報グループ
電話 (023)662-2223 (直通) FAX (023)662-5176
中山町公式ホームページ <http://www.town.nakayama.yamagata.jp>
（「広報なかやま」「お知らせ版」はホームページでもご覧いただけます）

ご意見用メールアドレス
joho@town.nakayama.yamagata.jp
こちらのQRコードからも取得できます。



納得解決！広聴制度



町には、町民の皆さんからたくさんの意見が寄せられています。その内容は、苦情や要望、提案など様々です。

こういったご意見に耳を傾けると、そこからまちづくりのヒントがたくさん見えてきます。

なかには、町に提案したいこと、言いたいことがあっても、どうやって意見を伝えたらよいかわからない人もいますでしょう。

そこで、今月の特集は「納得解決！広聴制度」と題して、中山町の広聴の取り組みと今年度町民の皆さんから寄せられたご意見等をご紹介します。

広聴に関するお問い合わせ
政策推進課地域情報グループ
☎662-2223

なぜ「広聴」が必要か

広聴とは、「町や県などの行政機関が広く一般の方のご意見やご要望などを聞くこと」です。

地方分権に伴い、各自治体には、地域の特色を活かした独自のまちづくりが求められています。他の市町村で成功した政策を中山町で展開しても、必ずしもうまくいくとは限りません。

町では、まちづくりの基本指針となる「第5次中山町総合計画」において、施策目標の一つに「みんなですすめる協働によるまちづくり」を掲げており、中山町らしいまちづくりを進めていくために、町に対して出されたご意見やご要望を町政に反映させることが大切であると考えています。具体的な提案はもちろんのこと、苦情や要望の中にも、きっと中山町独自のまちづくりのヒントが含まれているはずです。

町が目指す「協働によるまちづくり」は、町に関する情報について

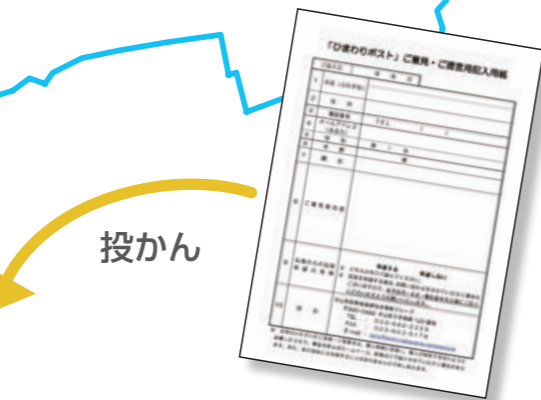
て、町と町民の皆さんが共有することから始まります。

そのためには、広報紙や公式ホームページなどで町民の皆さんがまちづくりについて考えるのに十分な情報を提供することが求められますが、これだけでは町からの一方的な情報提供になり、町民の皆さんが求めていることを的確にとらえることはできません。双方のつながりを持つため、「広聴」が必要になります。広報と広聴は、まさに自動車の両輪のような関係と言えます。

町民の皆さんの生の声をお聞きする広聴制度には、地区要望会をはじめ、ひまわりポストやひまわり直行便、また、インターネットメールを活用した投書方法があります。

こういった制度を知っていただき、誰もが気軽にまちづくりに参加し、そして共に考えることのできる環境を整えていくため、今回は町の広聴制度についてご紹介します。

「ひまわりポスト」にご記入するかが「存知ですか?」



No.	設置場所
1	中山町役場1階ロビー
2	中央公民館受付窓口横
3	保健福祉センター受付窓口前



町内3か所に設置されている町民の提案箱「ひまわりポスト」

「ひまわりポスト」をご存知ですか。「ひまわりポスト」は役場をはじめ町内3か所に設置している町民の皆さんのご意見箱で、その利用方法はとても簡単です。

ひまわりポストと一緒に記入用紙を用意していますので、用紙にご意見等とご連絡先を記入し、ひまわりポストに投かんしてください。もちろん、備え付けの用紙以外でも結構です。最近増えているのが、匿名での投かん。いただいたご意見等に対し、町から問い合わせや回答をしたくても、連絡先の記入がないと連絡をすることができません。

町からの回答を希望する方は、名前と住所、電話番号にメールアドレスなど、ご連絡先の記入をお忘れにならないようお願いいたします。

「ひまわりポスト」は、各施設において、記入用紙が入っているかどうかを毎日確認しています。ここに投かんされたご意見は、政策推進課の職員が各担当課に振り分け、関係する課・グループのグループ員、課長、副町長、町長へと回覧します。

担当課では、内容についての回答を作成し、ご意見をくださった方に回答することになります。なお、お寄せいただいた内容により、回答が遅れることがあります。

ひまわりポストをこれまで見たことがあっても、ご意見を投かんしたことがない方。また、ひまわりポスト自体を見たこともない方。これを機会に、あなたのご意見やアイデアを、お近くのひまわりポストに投かんしてみませんか。

こんなご意見が寄せられました

今年度は、匿名の方を含め、30件のご意見が寄せられました（平成28年10月末現在。内訳は右の表の通り）。

ここからは、実際に皆さんからいただいた疑問やご意見を抜粋してご紹介します。

	ひまわり直行便	ひまわりポスト	メール	その他
町政関係	10	2	4	3
職員関係	2	-	1	1
町関連団体	3	-	-	-
その他	3	-	1	-

ひまわり直行便から 「町の花 ひまわりについて」

町の施設名や、意見を求める「ひまわり直行便」の名称にも町の花ひまわりが使用されていますが、町の中にひまわりを実感できる自然や花そのものが見当たりません。

中山町として町の花ひまわりを活用する事業や取り組みに期待します。今後、ひまわりを活用する町の方向として最上川や国道112号、ひまわり温泉ゆ・ら・らなどでまちづくりを展開して、観光～特産品の開発へ発展できないでしょうか。（60代男性）

現在、町では町の花ひまわりを活用する事業として、国道112号沿いに「ひまわりロード」を整備し、29年間事業を継続しており、今年度は大字向新田地内からおおよそ600mにかけてひまわり1280本のほか、センニチソウやジニアを植栽しました。また、町内を1日4回巡回している町営バスには、車体側面にひまわりをイメージしたデザインを施し、運行を行っています。

これまで、ひまわり温泉ゆ・ら・らの玄関前に設置したコンテナを使ってひまわりを育てたり、べにばな国体が開催された頃にはひまわりの種を全戸配布し、ひまわりで町をいっぱいにする活動を行ってまいりました。今後は、ひまわりが町の花であることを知っていただくとともに、ひまわりを身近に感じることのできる活動や取り組みを町民の皆さんと一緒に進めていきたいと考えております。

担当課：政策推進課／建設課



ひまわりポストから 「ひまわりの花、すももの里について」

ひまわり館・すもも館等を併設し、町の花であるひまわり、特産であるすももに関して町民が知識を高め、花笠オクラ、紅花、芋棒煮等の町の文化を育みつつ体験教室等を通して人間形成ができるような取り組みがあれば理想的な中山町に近付くのではないのでしょうか。（70代女性）

ひまわり館やすもも館について、簡単に設置することはできませんが、ひまわりやすももについて知識を深めたり、実際に育ててみたり、町内産の食材を利用し「体験教室」等を実施することは、各課に取り組みを促すことにはできるものと考えております。また、町の文化や特産品など、中山町を知る・感じる機会が増えることは、中山町は「わたしのふるさと」と自信を持って誇れる、そして町を愛する方、関心を持っていただく方を増やしていく要因になると思っております。

町の花ひまわりについては、他の町民の方からは「町内にひまわりを感じられないのではないか」といったご意見もいただいております。今後は、ひまわりが町の花であることを知っていただくとともに、ひまわりを身近に感じることのできる取り組みや活動を町民の皆さんと一緒に進めてまいりたいと考えております。

担当課：政策推進課

町公式ホームページから



手順① トップページ右側の、赤で囲まれているバナーをクリック



手順② メールアドレスの上にカーソルを合わせ、もう一度クリック

「まちづくりには関心があるけれど、普段仕事をしていたり、ひまわりポストに投稿するのは難しい」という方は、インターネットメールを利用して提案してみませんか。手順は簡単です。

①まず、町の公式ホームページにアクセスします。表示されるページの右の列に「ひまわりポスト」というバナーがありますのでそこをクリックしてください。

②画面が展開して、ページ中ごろに町宛のメールアドレスが表示されますので、メールアドレスの上にカーソルを合わせ、もう一度ク

リックします。

③すると、メール送信ページに切り替わるので、件名や本文にご意見や提案の内容を入力してください。また、忘れずにご連絡先も入力してください。

④入力が完了したら、最後に「送信」すると町宛にメールが送られます。

こちらも、ひまわりポストと同様の方法で、提案していただく方に回答を返信することになります。なお、開封できない場合があるため、ファイル等の添付はご遠慮ください。



手順③・④ 件名、本文に内容とご連絡先を入力し、送信



「ひまわり直行便」から



これまで紹介した方法のほかに、「ひまわり直行便」があります。「ひまわり直行便」は7月15日号の広報とともに配布していますが、使い切ってしまった方が、紛失してしまった方は役場総合窓口や中央公民館、保健福祉センターに予備分を設置していますので、ぜひご利用ください。

こちらは、左のような形で配布されていますので、切り取り線に沿って切り取り、他と同様にご意見とご連絡先を記入し、最寄のポストに投かんしてください。なお、切手は不要です。

ひまわり直行便から 「長崎堰について」

長崎堰は、中山町、特に旧長崎町を縦断する歴史ある貴重な水路堰であると考えます。しかし現在の水路状況は、ほとんど水が流れず、長崎の中心部を流れる水路としては、悲惨な状況にあり地域環境にも悪影響を及ぼしています。雨水排水が整備されていない現在、長崎堰への町内からの雨水流入は避けられず、末端の堰に流下している状況です。現在、取水口の改修工事が県営事業として進められていますが、これに合わせ、水路整備を町主体で改良区と連携して行い、中心街を流れる清流の復活を切に希望します。
(60代男性)

ご指摘のありましたとおり、長崎堰は農業用水路として利用されてきたわけですが、水路施設の老朽化が進み、また、周辺土地利用など社会情勢の変化に伴い、利水用途や水需要の内容が変化していることから、農業用水路としての役割は年々低下しております。長崎堰は、農業用水、雨水排水や生活利排水等多様な目的に利用されておりますが、取水は、農業用水として水量や取水期間が決められているため、年間を通して通水ができない状況です。つきましては、老朽化した水路整備は、これまでどおり最上堰土地改良区と連携し、維持管理や改修を行っていきたくと考えております。
担当課：産業振興課

ひまわり直行便から 「お知らせ版について」

最近のお知らせ版が以前より見にくく感じられます。このことは私だけではないようで、人によっては頭から見ない方もいるようで非常に残念です。町の情報が町民に伝わるよう、目に優しく少々工夫していただければ嬉しいです。
(70代女性)

「広報なかやま」および「お知らせ版」については読みやすさを心がけ、全面カラーページで、文字が小さくても読みやすい「ユニバーサル書体（まぎらわしい画線をなくしてシンプルにするなど、読みやすさの向上と誤読を防ぐために様々な工夫がされたフォントのこと）」を採用しています。また、記事のレイアウトについては、記事の分量とページ数等を勘案しながら割り付けをしており、見た目と文章での分かりやすさを心がけています。さて、この度のご意見は、お知らせ版について「以前より見にくく感じられる」「頭から見ない方もいる」ということで、担当としても大変残念に感じているところです。見やすさについては、ページ数と記事の分量といった制約の中ではありますが、レイアウトやカラーの使い方などに改善の余地があると考えられますので、読みやすい紙面を工夫してまいりたいと思います。広報紙を見ない方がいるということについては、紙面の見にくさが原因なのかもしれませんし、興味を引く紙面構成になっていないということも考えられます。いずれにいたしましても、読んでいただかないことには情報は伝わらないので、手に取って読んでいただける魅力ある広報紙を目指していきたくと思います。町では、町民の皆さんと一緒にまちづくりを進めるために、これからより一層、情報発信が重要と考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
担当課：政策推進課

ひまわり直行便から 「出前中山町について」

町に対しては、各個人大なり小なり色々な意見要望があると思います。それらの意見をどれだけ吸収、町政に反映できるかが町の発展や「住んでよかった」と思える中山町につながると思いますが、地元住民から情報収集する努力は皆無に思えてなりません。よって、地元住民の意見を聞く機会を定期的に設定してもらいたいと思います。地区単位で開催してもらえれば地元で直結した現実味のある意見が把握できるものと考えます。
(60代男性)

町民の方からご意見やご要望をうかがう広聴事業としては、①地区要望会の開催、②町政座談会の開催、③「ひまわり直行便」の実施、④町関係施設への「ひまわりポスト」の設置等を行っています。町政座談会については、各地区区長に対して希望があれば開催する旨を伝えておりますが、平成27年度は1地区のみの開催、平成28年度はまだ開催の要望がないという状況です。町が進めております「第5次中山町総合計画後期5か年基本計画」の柱のひとつ「みんなですすめる協働のまちづくりの推進」の中で、広聴活動の充実を挙げており、町民の方がご意見やご要望を提案できる体制整備と機会の拡充に取り組んでいるところです。今回ご提案いただいた内容を真摯に受け止め、「住んで良かった」と思える中山町を目指し、来年度からの具体的施策に反映させていきたいと考えますので、ご理解をお願いします。なお、補足ではございますが、地区要望会につきましては、今年度は8月に開催しており、6地区から32項目の要望があり、要望があった地区の役員の方に対し町からのご説明を申し上げたところです。また、「ひまわり直行便」については、年に1回全戸配布を実施しているもので、その他「ひまわりポスト」やメール、お手紙でご意見やご要望をいただくこともございます。これらについては、ご住所等を記載していただいている方には町から文書でお返事を返しております。
担当課：政策推進課

ひまわり直行便から 「初音橋の小型車通行について」

数年前に初音橋の工事を行ったようだが、費用対効果が見えない。少なくとも小型車が通過できる橋にすべきであると思う。昔は小型車が通過できたが、ガードレールができて通過できなくなった。橋の工事に関連して通過できるようになると思ったが、軽自動車も通り抜けできないようだ。
(70代男性)

初音橋のある路線は町道西小路1号線ですが、初音橋から北側54mの区間は、道路幅員が2.2m以下の部分があり「自動車交通不能区間」として道路認定されています。この「自動車交通不能区間」は道路法施行規則に規定された最大積載量4トンの貨物自動車が行き通ることができない区間に該当します。以上のことから初音橋の有効幅員もこの道路の最小幅員に併せ2.2mで架け替えしたものです。「自動車交通不能区間」は主に歩行者・自転車・軽車両等の通行を想定したものととなります。自動車通行不能区間に現況の道路幅員より広い橋を設置することは自動車の侵入を促すことになり、通行に支障をきたすとともに個人所有の構造物等を破損するおそれがあると判断されます。費用対効果を考慮すれば、西小路1号線の全区間が最大積載量4トンの貨物自動車が行き通るようになった場合に初音橋も拡張しなければならぬと考えております。同路線を自動車通行の際は自宅から北側の商工会方面の県道に通り抜けしていただきますよう、ご理解をお願いいたします。
担当課：建設課

ひまわり直行便から 「河川敷のバスケットリングについて」

夕方や休日に時々遊びに行くのですが、バスケットリングが空いているときがありません。2基ほど増やしてもらえないでしょうか。(60代男性)

当町は「スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま」をキャッチフレーズとして、農業振興、スポーツ振興を推進しております。スポーツには多くの競技があり、競技人口も分散している状況にあります。なかでも、サッカー、ソフトテニス、卓球、野球、バレーボール、バスケットボールは球技において人気の高いスポーツとなっております。

町の体育施設を利用する場合は事前に申請していただくこととなっておりますが、河川敷のバスケットコートは憩いの場として自由に使用していただいているのが現状となっております。

また、同施設は競技用ではなく、皆さんが自由に気軽に楽しめる憩いの場として、互いに配慮していただきながら有効に使用していただきたいと考えており、現時点で増設の考えはございませんのでご理解いただきますようお願いいたします。 担当課：教育課

ひまわり直行便から 「赤いバイクのスーパーマンについて」

9月の残暑の厳しい日でした。用を足すために長崎地区へバイクで向かいました。ところが^{ひとけ}人気のないあたりでパンクしてしまい、押して帰宅するはめになったのです。持病のある私にとってとてもつらい作業でした。

疲れて休んでいると赤いバイクが私の横を通り過ぎていきましたが、やがて戻ってきてくれて、私の家へ行きパンク修理の道具を持ってきてくれました。本当に嬉しく、心温まる出来事でした。(60代男性)

心温まるお話を寄せていただき、大変ありがとうございました。弱っているときや困っているときに差し出される助けの手ほどありがたいものはありません。人と人との関係が希薄になっていると言われていた中、赤いバイクの方の親切が差出人様の心に響いたのが伝わってまいります。

さて、町においては、現在「第5次中山町総合計画後期5か年基本計画」を推進しております。その中で「生涯にわたって安心・安全に暮らせるまち なかやま」を基本目標の一つとして掲げています。町民の皆さんが安心・安全に暮らせるために、差出人様を助けた赤いバイクの方のように、人の助けとなり、手を差し伸べられる心を忘れないまちづくりを進めていきたいと思っております。

今後もお気づきの点がございましたらご意見を頂戴できれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 担当課：政策推進課

いかがでしたでしょうか。今回紹介したもののほかにも、多くの方からご意見・ご要望をお寄せいただいております。事業や取り組みの参考としております。協働によるまちづくり推進のため、今後もたくさんのご意見をお待ちしています。

※来年度からは、年2回、お寄せいただいたご意見と町からの回答を「広報なかやま」に掲載する予定です。その際は、個人が特定できないように編集した上で紹介させていただきます。

ひまわり直行便から 「ひまわり温泉ゆ・ら・ら入浴回数券購入について」

ひまわり商品券で入浴回数券を2冊購入しようとしたが、役場の指導で1冊ずつしか販売できないとのことで、購入できなかった。

1冊ずつであれば、日を改めれば買えるとのことであったが、納得できない。(70代男性)

中山町商品券振興会が発行している「ひまわり商品券」につきましては、販売時のチラシおよび取扱事業者向け資料に記載されておりますとおり、「各店発行の商品券及び金券」には使用できないこととされており、「ひまわり商品券」による「ひまわり温泉ゆ・ら・ら入浴回数券(14回券)」の販売・購入は禁止事項にあたります。

つきましては、ひまわり温泉ゆ・ら・らにて商品券での販売がありましたことをお詫び申し上げます。引き続き、ひまわり温泉ゆ・ら・らをご利用くださいますようお願い申し上げます。

担当課：産業振興課

ひまわりポストから 役場に水飲みの機械を取り付けてほしい (50代女性)

役場庁舎内に水飲みの機械を設置することは、来庁者サービスの一環として良いことであると考えますが、機械の設置にあたっては、機械のリース料や維持管理の経費がかかるものであり、今すぐに設置できるものではございません。

そのため、今年度中に機械を設置することはできませんが、新年度に向けて設置するかどうかも含め検討を行ってまいりたいと考えております。 担当課：総務課

公式ホームページから 「ほんわ館の貸し出し方法について」

本日本を借りようと窓口に行ったところ、カードがないと利用できないと断られてしまいました。

以前、氏名・住所・電話番号を紙に書いて会員検索をしていただき借りたことがあったのですが、そのことを話したところ「そのようなことはしていない」と断られてしまいました。

またうっかり忘れて悲しい気持ちにならないために、以前のように氏名等を書いて借りることができるように柔軟な対応をお願いします。(町外の利用者)

いつも中山町立図書館ほんわ館をご利用いただきありがとうございます。

さて、「利用者カードを忘れた時」の図書貸し出しについて、以前に名前を検索して借りたことがあるとお話ですが、当館では利用者カードでの貸し出し以外には行っておりませんので、他の図書館と勘違いをされたのではないのでしょうか。

当館の利用者カードは、「リライトカード」と言い、利用した日付と図書(資料)名、返却期限が明記され、利用毎に記録が更新されるもので、利用者カードを見れば、図書館から借りている図書(資料)の状況が一目で分かるようになっております。

そのようなことから、今後とも利用者カードを提示していただき貸し出しの手続きを行いますので、ご理解をお願いいたします。 担当課：教育課

【中山町表彰規則表彰】

町の表彰規則に基づき、長年にわたって各分野で優れたご功績を残し、地方自治の進展等に貢献された次の方に、表彰状が贈呈されました。



1 左から 石川浩司さん 町教育長として教育行政の推進に尽力
大津昭七さん 統計調査員として地方自治の発展に尽力
高橋和夫さん 町社会教育委員として社会教育の振興に尽力
丹野雅紹さん 全国かぶと虫相撲大会の創始者として産業の振興に尽力

2 高橋伴保さん
統計調査員として地方自治の発展に尽力
※高橋さんは所用により式典に出席できなかったため、後日役場応接室で表彰状を贈呈しました。

※写真中央は佐藤町長

表彰おめでとうございます



【社会福祉功労者表彰】

各分野で活躍され、町福祉の推進にご尽力された次の方に、感謝状が贈呈されました。

- 町社会福祉功労者
鈴木高子さん 結城淳子さん
- 介護功労者
今田和子さん 鈴木のり子さん 鎌上真知子さん
- 献血功労者
縄野正浩さん 佐藤広行さん 鈴木智子さん

【3歳児よい歯の表彰】

平成27年度の3歳児歯科検診で、虫歯や咬合異常などがなく健康な歯であった45名のお子さんに、表彰状が贈られました。式典には31名が出席し、名前が呼ばれると「はい」と元気良く返事をし、壇上で堂々と表彰状を受け取っていました。



- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 青山 理乃さん | 柏倉 陸人さん | 佐東 茉奈さん | 高橋 叶さん | 服部 美海さん | 森谷 奏太さん |
| 秋葉 勇透さん | 加藤 聖琉さん | 佐藤 莉心さん | 高橋 慶大さん | 松坂 海里さん | 森谷 悠生さん |
| 石川 咲さん | 鴨田 啓雅さん | 佐藤琉衣翔さん | 高橋 美陽さん | 松田 望さん | 渡邊 一颯さん |
| 井上 蒼彩さん | 後藤ひまりさん | 四宮 尚親さん | 高橋 瑛太さん | 峯田 朔杜さん | 渡辺 大地さん |
| 井上 夏愛さん | 小松 峻真さん | 澁谷 美咲さん | 多田 瑛太さん | 村山 由奈さん | 渡辺美結莉さん |
| 宇津井さやさん | 近野 壮太さん | 志村 晃輔さん | 丹 心幸さん | 村山 由奈さん | 渡辺 悠人さん |
| 大泉 杏莉さん | 笹木 晴愛さん | 鈴木 葵さん | 中川 陽愛さん | 森田 千華さん | |
| 大坪希紗良さん | 佐東 志生さん | 鈴木 彩乃さん | | | |
| 大沼三菜実さん | 佐藤 柊那さん | 鈴木 健悟さん | | | |
- (50音順)

健康と福祉のフェスティバル
～いきいき町民大会～

10月16日、町民の健康を守り、福祉の向上を目指す「第28回健康と福祉のフェスティバル～いきいき町民大会～」が中央公民館で開催され、「介護予防」を重点テーマに様々な催しが行われました。



記念講演師の澤口俊之先生

会場には、健康相談、栄養相談などのほか、介護予防コーナーが設けられ、訪れた人は各コーナーを巡りながら健康づくり、介護予防への関心を高めていました。
また、食生活改善推進協議会による減塩料理の献立例展示や、「適正塩分味噌汁」の試飲が行われました。
食生活改善推進員の方によると、味噌汁減塩のポイントは、塩分が多い市販のだしの素は使わず、昆布とかつお節から出汁をとること、目分量に頼らず調味料の量を計り、塩分の摂りすぎを防ぐことだそうです。試飲をした方からは、「普

段飲んでいる味噌汁と比べるとやや薄いと感じたが、このくらいの方が出汁の香りが楽しめて美味しい」と好評でした。
併せて開催された「中山町表彰式」では、中山町表彰規則に基づく表彰が行われたほか、福祉の分野で功労のあった方に感謝状が、昨年度の3歳児健診で虫歯がなく、健康な歯であったお子さんに表彰状が贈呈されました（感謝状が贈られた方と表彰された方は、次のページで紹介しています）。
記念講演では、脳科学者の澤口俊之先生が登場。「元気で生き生き生きる 脳の若返り」と題し、集まった約300名の観客の前で講演を行いました。
講演では、記憶に関係する脳の各部についての説明があり、脳科学の観点から見る認知症発症のメカニズム等の解説のほか、認知症を発症しやすい人の特徴などをご自身の学生時代のエピソードやテレビ番組での共演者とのエピソードを交えながら話してくださいました。
ユーモアたっぷりの澤口先生のお話には、会場は終始笑い声に包まれていました。



1 介護予防・ロコモ予防体操。ロコモとは、筋肉、骨、関節などの運動器に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった基本的な運動機能が低下している状態を言います。健康寿命を延ばすため、音楽に合わせて楽しく体を動かしました。



2 「適正塩分味噌汁」の試飲。3 若がえりワンポイントメイクコーナーでは、メイクのアドバイスのほかハンドマッサージも行われました。

自分たちの地区は自分で守ろう 町防災訓練 in 上町・新町

- 1 人形を使用しての応急手当訓練。女性消防隊員の指導で、意識がなく、呼吸も停止している人を見つけた場合の心肺蘇生法やAEDの使用方法を学びました。
- 2 消火器を使った初期消火訓練。消火器は使ったことがないという参加者がほとんどでしたが、消防団員の指導のもと、実際に消火を体験しました。
- 3 家族などに無事を伝える伝言ダイヤル（NTT）の体験。
- 4 最上川中部水道企業団の協力による応急給水訓練。



10月23日、上町・新町地区を主会場に、町防災訓練が行われました。訓練は、「山形盆地断層帯を震源域とする大規模な地震が発生した」という設定で、「町内全域で建物崩壊や火災が発生したほか、電気・通信・水道等のライフライン停止」などの被害を想定して実施。町、消防団、地区住民が一体となって訓練を開始しました。

参加者は、災害を知らせるサイレンで、避難所に指定されている地区公民館等に集合。その後、災害が拡大したことにより、避難している公民館にも危険が及ぶおそれがあると想定し、さらに長崎小学校への集団避難訓練を行いました。参加者は、高齢者と歩幅を合わせ一緒に避難するなど互いに助け合いながら、地区役員や消防団員の誘導に従って避難していました。

長崎小学校への避難が完了すると、グラウンドや体育館で初期消火訓練や災害用伝言ダイヤルの体験、負傷者の応急手当訓練など、本番さながらの訓練を行いました。そのほか、消防団員による消火訓練、最上川中部水道企業団による応急給水訓練など、様々な訓練が併せて行われました。

万が一の事態が発生したときに役立つのがこうした訓練です。14～15ページで、地震発生時の対応や備えについて紹介していますので、皆さんも家庭で非常用持ち出し袋などを用意したり、地域の防災訓練や研修会に積極的に参加するなど、日ごろからできる対策をし、非常時に備えましょう。



上町・新町自主防災会
高橋 賢治 会長

上町・新町の自主防災会は平成27年4月に組織し、今回が初めての防災訓練です。自助・共助の精神のもと、被害を最小限に留めるのが私たちの役目だと考えています。今後も継続して訓練を実施し、地区民の防災意識を高めるきっかけになればと思います。

東日本大震災以来、非常持ち出し品や備蓄品の用意は普段からしていますが、こういった訓練は初めて参加し、消火栓を使ったの消火も体験しました。いざというときは自分の身は自分で守ることを忘れず、万が一に備えたいと思います。



日下部滞さん、
憂人くん

10月10日・11日の2日間、中山町がグラウンド・ゴルフの振興の町であることを全国に発信するとともに、プレイヤー同士の親睦と交流を深め、健康の輪を広げることを目的に「第6回全国ひまわり杯グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

大会には、県内外から308名のグラウンド・ゴルフ愛好者が参加し、2日間で6コース、計48ホールを回り、合計打数でスコアを競いました。

競技が始まると、日ごろの練習の成果を競い合いながら和気あいあいとプレーする様子が見られ、あちこちで歓声や笑い声が聞こえていました。中には、慣れないコースに実力が発揮できず、四苦八苦している参加者もいましたが、同じ班の仲間同士で励ましあい、秋晴れの空の下、楽しげに汗を流していました。



上位10名の皆さん。おめでとうございます。

上位入賞おめでとうございます！ 大会結果（上位10名）

順位	氏名（敬称略）	市町村
1	仲 嶋 弘 志	村山市
2	奥 山 正	村山市
3	佐 藤 忠 勝	山形市
4	内 藤 勝 子	中山町
5	佐 藤 啓 二	中山町
6	高 橋 周 雄	東根市
7	石 川 慶 治	中山町
8	鈴 木 三 郎	宮城県
9	白 幡 征 一	山形市
10	橋 本 孝 一	中山町

競技終了後の表彰式では、上位50名を表彰。一人一人に森谷副町長から表彰状と賞品が手渡され、表彰される選手の名前が読みあげられるたびに拍手がわき起こり、盛り上がりを見せていました。



吉田美保子さん（新潟県）

この大会に出るのは初めてです。慣れないコースなので感覚をつかむのに少し時間がかかりましたが、芝の手入れが行き届いていてプレーしやすかったです。来年もまた出場したいと思います。

照沼 義美さん（茨城県）

昨年に続き2回目の出場です。全国から愛好者が集まり、グラウンド・ゴルフを通して多くの方と親睦を図ることができました。今年は昨年知り合った方に声を掛けていただき、とても嬉しかったです。



全国ひまわり杯 グラウンド・ゴルフ大会

スポーツで交流を深めよう！

「非常持ち出し品」と「非常備蓄品」を準備しましょう

「非常持ち出し品」とは？

避難するときに持ち出す最小限の必需品です。重すぎると避難に支障が出ますので、必要最小限のものをまとめ、すぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。

- 懐中電灯**
できれば1人に1つ用意。予備の電池も忘れずに。
- 貴重品**
現金、預貯金通帳、印鑑、健康保険証、住民票のコピーなど。
- 携帯ラジオ**
小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの。
- 救急医薬品**
傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、常備薬など。
- 非常食・水**
缶詰や乾パンなど、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入りが便利。
- その他**
ヘルメット、下着類、タオル、軍手、ライター、ナイフ、ティッシュなど。



家族構成などにあわせた準備を！

上記のほか、各家庭の構成や状況に合わせた準備が必要です。また、定期的な見直しも必要です。
乳幼児のいる家庭…ミルク、ほ乳びん、おむつ、離乳食、スプーン、洗浄綿、おんぶひも、バスタオルなど。
高齢者や障がい者のいる家庭…おむつ、車いす、補聴器、持病の薬、障害者手帳など。

「非常備蓄品」とは？

災害の復旧や公的な援助などが行き届くまでの数日間を自力で生活するための用意です。少なくとも**7日分以上**の備えをしておきましょう。

- 食料品**
缶詰やレトルト食品など非常食3日分を含む7日以上を備蓄。
- 燃料**
卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベなど。
- 水**
飲料水は、大人1人あたり1日3リットルを目安とし、7日分用意する。また、水の配給を受けるためのポリ容器などもあると便利です。
- 工具**
ロープ、バール、はさみ、のこぎり、ジャッキ、スコップなど。
- その他**
簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、マスク、シートなど。



食料品は「回転備蓄(ローリング・ストック)」がおすすめ！

備蓄した食料品の賞味・消費期限切れを防ぐためには、回転備蓄(ローリング・ストック)がおすすめです。備蓄品を古いものから順に普通の食卓に並べ、食べた分を買い足しましょう。定期的な賞味・消費期限のチェックにもなり、比較的期限の短いものでも非常食として役立つことができます。

地震が発生したときの行動パターンを確認しましょう

大きな地震が発生した際、一瞬の判断が生死を分けることもあります。いざというときあわてず落ち着いて行動するために、基本的な行動パターンを確認しておきましょう。

「地震時」の行動 → まずは身の安全を確保する

丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

「地震直後」の行動

- ・火を使っているときは、揺れがおさまってからあわてずに火の始末をする。
- ・出火しているときは消火する。ただし無理はせず、119番通報や周囲に助けを求める。
- ・屋内では転倒・落下した家具類や割れたガラスの破片などに注意する。
- ・瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるなど危険なので外に飛び出さない。
- ・揺れがおさまったのを確認してから、ドアや窓を開けて、必要に応じて避難ができるように入出口を確保する。
- ・屋外で大きな揺れを感じたら、倒壊のおそれのあるブロック塀、電柱、自動販売機、橋などには近寄らない。



「地震後」の行動

- ・家屋の倒壊のおそれや、近隣に大きな火災が発生したときには、避難所などに避難する。
- ・津波や土砂災害のおそれのある場合は、状況に応じてより安全な場所に避難する。
- ・家族に子ども、高齢者、障がい者などの避難に時間のかかる要配慮者がいる場合は、早めに避難準備を開始する。
- ・ラジオやテレビ、行政、消防から正しい情報を集める。
- ・火災などの二次被害を防ぐために、避難が必要になったときはできるだけ電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めてから避難する。



倒壊の危険がある建物には立ち入らない！

熊本地震では、震度7の揺れが2度発生し、最初の大きな地震では倒壊をまぬがれながらも、2度目の強い揺れには耐え切れず倒壊してしまった家屋が多数ありました。強い揺れによって家屋が被災した場合には、余震などによる二次被害のおそれがあるので、倒壊の危険がある建物には立ち入らないようにしましょう。

長崎^{かいつ}界隈で最も豊かな村であった岡村は、大高^{おおかま}持ちも多く、医師の存在は容易に想像できるのですが、意外にもこの大高持ちとは直接血縁を持たない医師が多いのも不思議なことです。

文化12年（1815）岡村の柏倉新太郎家の次男庄蔵（後の忠肅）が25歳のとき、米沢藩医堀内忠亮素堂（1801～1854）の門に入り、10年の修業の後、更に5年、江戸に出て医学を学んでいます。堀内家の門生譜（生徒名簿）には、「最上生柏倉庄蔵」と載っています。

安政3年（1856）には、41歳という年齢で「樺太探検隊」松浦武四郎らの診療に従事し、蔓延元年（1860）には、函館で外国人医師を含めた病院建設を建議し、明治2年には函館五稜郭の攻防戦（箱館戦争）で、官軍の医師として傷病兵の治療に当たっています。

その後、浦河開拓病院、幌

原病院勤務を経て、札幌ではじめての個人医院を開設し、妻と娘と平和に暮らしていましたが、明治12年8月に札幌で亡くなっています。

嘉永5年（1852）の「岡村人別宗旨改帳」には家族の記録はなく本人一人の名のみ記されており、江戸の医学修業時代にも岡村に在籍しているのは、いつの日か帰村の意志を持っていたのであろうが、何故か北海道の医業に係わり数奇な人生を歩んだ興味深い人物です。

【用語の説明】
大高^{おおかま}持ち：江戸時代に高請地を所持し、検地帳に登録された農民のことで、本百姓ともいう。

箱館戦争：戊辰戦争の局面のひとつで、新政府軍と旧幕府軍との最後の戦闘である。

※引用 中山町史 中巻
第9章第4節 疫病の流行



土橋地区は、町西部に位置する、人口531人（143世帯）の地域です。（平成28年10月末現在）



まちづくりへの第1歩

つきやまおうゆうかい 月山櫻遊会（土橋地区）



高橋秀也会長

月山櫻遊会（高橋秀也会長は、豊田小学校校舎の西側にある月山の桜並木の維持管理をし、土橋地区の美しい景観を守ることを目的として活動している、現在会員数32名の団体です。）

月山の桜は、平成12年に国の補助制度を利用して植栽されました。その後約10年間、この制度を利用して維持管理が行われてきましたが、平成22年3月をもって終了。

その後は、関係者の「補助制度が終わったから桜の管理も打ち切るといのはしのびない」という思いや、「桜並木を残してほしい」という地区住民の声もあり、土橋地区の有志で平成22年4月、「月山櫻遊会」が構成されました。

現在は、町の「まちづくり推進事業補助金」を活用し、樹木を病気から守るための消毒を年2回、

日本三大芋煮会に参加しました



大勢の人で賑わった「日本三大芋煮会in津和野」

10月16日、「日本三大芋煮会in津和野」が開催され、町から森谷副町長のほか元祖芋煮会in中山実行委員会の皆さんが中山町から材料を持参して参加しました。

このイベントは、中山町と同様に芋煮文化を誇る島根県津和野町の「芋煮」、愛媛県大洲市の「いもたき」、そして当町の「芋棒煮」を「日本三大芋煮」とし、3市町の食文化の交流と振興を図ろうと、3地域の連携イベントとして平成26年から始まったものです。

今年には島根県津和野町で芋棒煮300食のほか、芋煮900食を振舞い、来場者に中山町の味を美味しくPRしました。いずれも好評で、中山町のテント前には長蛇の列ができていました。



月山櫻遊会の皆さん



愛媛県大洲市「いもたき」
大洲市に伝わる郷土料理。鶏肉、里芋などが入った甘めのしょうゆ味。



山形県中山町「芋棒煮」
江戸時代、最上川舟運の船頭が食べていた棒状の芋煮を現代風にアレンジしたもの。



島根県津和野町「芋煮」
津和野町に江戸時代から伝わる郷土料理。具は里芋のみで、鯛のだしを生かした薄めのしょうゆ味。

日本三大芋煮

中山町産！ ラ・フランス・りんご

ふるりの味をあの方へ・・・
宅急便で全国発送承ります

洗いたてを真空パック
冷凍保存ができます

中山町産 **里芋** 好評発売中！

冬季営業時間 12月1日～2月末日迄
朝9時～午後6時迄

中山町情報・物産館 **Qotto** ☎023-674-0575

入浴営業時間 ～12月末日
早朝6時から営業いたします

●11月26日の風呂の日は！
民謡・歌謡ショー
第五十代山形県民謡王座 吉見 勝義
入浴のお客様
入場無料！

11月の休館日：11月21日(月)

ゆらら ゆらら 会員募集中！
QRコードからアクセス！

株式会社 中山町振興公社 ☎023-662-5780

ルールを守って正しく横断 かもしかラリー大会



10月8日、中央公民館を主会場に「かもしかラリー大会」が開催され、かもしかクラブの年長児が参加しました。

歩行訓練では、保護者とペアになって実際に路上コースを歩きました。日頃かもしかクラブで練習しているとおり、道路では歩道または右側を歩き、踏切や横断歩道では「ストップの約束」を実践。しっかり立ち止まり、左右の安全を確かめてから道路を渡りました。

内輪差の体験では、車が曲がる際、後輪が描く円弧が前輪よりも内側になるという性質を学びました。実際に横断歩道に人形を置き、横断歩道の手前で待つと、内輪差でタイヤに巻き込まれてしまう可能性があること、大きな車ほど内輪差が大きくなることを子どもたち自身の目で確認し、横断歩道で青信号になるのを待つときは、一歩下がって待つという約束を再確認しました。

まちの人口

(10月末現在)

人口 **11,649人** (前月比-11人)

(男5,686人、女5,963人)

世帯数 **3,649世帯** (前月比-3世帯)

人の動き 出生5人 転入20人
(10月届出分) 死亡15人 転出21人

多機能型事業所「なかやま虹の丘」開所式



「なかやま虹の丘」の利用についてのご相談は下記まで。

社会福祉法人 愛泉会 ☎662-5588

10月25日、多機能型事業所「なかやま虹の丘」の開所式が行われ、佐藤町長をはじめ関係者がテープカットで開所を祝いました。

「なかやま虹の丘」は、障がい者の創作的活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流等を図る場として平成23年7月に開所。5年目の今年は、今後ますます利用者の拡大が見込まれることから、施設の改修を行い、社会福祉法人 愛泉会が運営することになりました。

今後は、それぞれの能力にあった創作活動等を支援する「生活介護」と就労の機会を提供する「就労継続支援(B型)」の2つの機能を併せ持った多機能型事業所として、障がい者支援のますますの充実を図ります。

亀井ミサ子さん 県書道展で見事県知事賞を受賞



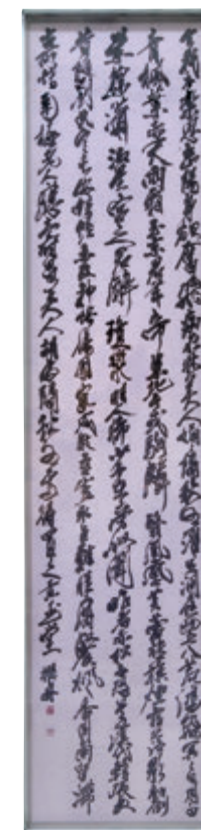
亀井ミサ子(櫻舟)さん。雅号の「櫻」は、地元達磨寺のお達磨の桜に由来しているそうです。

「第41回県総合書道展」において、亀井ミサ子さん(達磨寺)の漢字作品「杜甫詩」が県知事賞に選ばれました。

亀井さんが書道を始めたのは30代半ば。子どもの頃から書道が好きで、いつか習ってみたいという思いがあり、息子さんの書道教室の送迎がてらご自身も習い始めたそうです。仕事と家事の合間に練習を重ね、現在は週3回、ご自宅で書道教室を開いています。

亀井さんのこだわりは、書を作品として楽しみたいという思いから、まず始めに作品を飾る額、その次に額に合う半紙を決め、最後にどんな言葉を書くか考えることだそうです。

628点の作品の中から最高賞の県知事賞に選ばれたことについて、「これまでもこの書道展に出品して賞は様々ないただきましたが、最高賞は初めて。これまで頑張ってきてよかった」と笑顔で話し、「これからはお弟子さんにも頑張ってもらいたい」と教え子の指導に意欲を見せていました。



←県知事賞を受賞した「杜甫詩」

有害鳥獣被害防止対策協議会を設置

10月13日、有害鳥獣被害防止対策協議会が設置され、第1回目の会議が開催されました。

この協議会は、今年、町内各所でイノシシ6件、クマ3件と多くの目撃情報があったことを受け、野生鳥獣による農作物や人的被害を防ぎ、地域住民の安全安心な生活環境を確保することを目的に設置されたもので、町内の猟友会会員や農業関係者で組織されています。

この日は町鳥獣被害防止計画案について協議されました。今後も必要に応じて招集され、対策を協議します。



初開催！プロバスケットB2リーグ公式戦



10月22日、23日の2日間、総合体育館でプロバスケットボールB2リーグ公式戦「パスラボ山形ワイヴァンズ対岩手ビッグブルズ」が開催されました。

パスラボ山形ワイヴァンズは山形県初のプロバスケットボールチームで、中山町での公式戦開催は今回が初めて。開会式では佐藤町長が「プロバスケットボール公式戦の舞台として中山町が選ばれたこと、間近でプロのプレーに触れられることは大変喜ばしい」と挨拶し、両チームの選手らを歓迎しました。

会場には、両日1000人以上の観客が訪れ、プロ選手の活躍に大興奮の様子でした。

お知らせ版

No.1269

町からのお知らせ

「(仮称)中山町の未来を描くワークショップ」の参加者を募集します

※お申込み・お問い合わせ先

政策推進課政策企画G

☎662・4271

今後のまちづくりや町の未来について話し合うワークショップを開催します。自由に意見を出し合い、楽しみながら自分たちの住む「まち」や「地域」について考えてみませんか。

●対象 中山町に住む18歳以上の方

●開催予定 12月〜平成29年3月まで

3〜4回開催(土曜日または日曜日の午後)。会場は中央公民館会議室等。

●申込方法 電話またはメール(kikaku@town.nakayama.yamagata.jp)で氏名、住所、電話番号、年齢を記載して申し込んでください。

●募集期間 11月15日(火)〜30日(水)

全国一斉情報伝達訓練を実施します

※お問い合わせ先

総務課危機管理G

☎662・4899

国からの災害情報などが瞬時に提供される全国瞬時警報システム(J-ALERT)の全国一斉情報伝達訓練が11月29日(火)午前11時に実施されます。

中山町災害・防災情報の登録メールアドレスに登録している方にも国からの訓練電文を配信しますので、**実際の災害と間違わないよう注意**してください。なお、登録制メールアドレスの登録方法は次のとおりです。

《中山町災害・防災情報登録制メールの登録方法》

①携帯電話・スマートフォンから専用URL(<http://jhp.town.nakayama>)

ほんわ館休館のお知らせ

※お問い合わせ先

町立図書館ほんわ館

☎662・6688

11月28日(月)〜12月5日(月)の期間、蔵書点検を行うため休館となります。

期間中の本の返却は「返却ポスト」をご利用ください(DVDや大型絵本はカウンターへ返却してください)。

平成29年新春を祝う会を開催します

※お申込み・お問い合わせ先

政策推進課政策企画G

☎662・4271

●日時 平成29年1月4日(水)

午後3時30分〜5時

●会場 中央公民館大ホール

●会費 2000円

●申込締切 12月15日(木)

●その他 ▼参加者名簿を作成します。お申し込みの際は氏名、住所、電話番号、職業または役職名をお知らせください(職業または役職名の掲載は任意)。▼平成28年に町内に工場または事務所等を興された方は、席上で紹介しますのでご連絡ください。

今月の納税等 納期限 11月30日(水)

- 国民健康保険税 5期
- 介護保険料 5期
- 後期高齢者医療保険料 5期
- ◆税額に変更のある方には11月15日に変更通知を発送しています。届いた方は内容をご確認ください。
- ※お問い合わせ先
- 住民税務課税務G ☎662・2112
- 公共下水道受益者負担金 2期
- ※お問い合わせ先
- 建設課下水道G ☎662・2115

知事と語るう市町村ミーティングin中山が開催されます

吉村美栄子知事が来町し、皆さんと県政について直接意見交換をします。町民の皆さんの多数の参加をお待ちしています。



吉村美栄子山形県知事

●日時 12月5日(月)午後1時30分〜3時30分

●場所 中央公民館大ホール

●対象 中山町民

●その他

・託児あります。託児を希望する方は、11月30日(水)まで申し込んでください。なお、人数に制限があります。

※お申込み・お問い合わせ先

政策推進課地域情報G

〒990-0492 中山町大字長崎120番地

☎662-2223 FAX 662-5176

メールアドレス joh@town.nakayama.yamagata.jp

平成27年度 情報公開および個人情報保護制度の運用状況をお知らせします

●情報公開請求件数等

年度	公開請求	決定			不服申立て
		公開	一部公開	非公開	
23	0	0	0	0	0
24	3	2	1	0	0
25	2	1	1	0	0
26	1	0	1	0	0
27	0	0	0	0	0

●個人情報取扱事務の登録件数 375件(平成27年度末)

●個人情報開示等の請求件数

(1) 開示請求

年度	開示請求	決定					不服申立て
		開示	一部開示	不開示	拒否	不存在	
27	0	0	0	0	0	0	0

(2) 訂正請求

年度	訂正請求	決定			不服申立て
		訂正	一部訂正	不訂正	
27	0	0	0	0	0

(3) 利用停止請求

年度	利用停止請求	決定			不服申立て
		利用停止	一部利用停止	非利用停止	
27	0	0	0	0	0

※お問い合わせ先 総務課庶務G ☎662-2111

山形県選挙管理委員会から 山形県知事選挙が行われます

平成29年1月22日執行予定の山形県知事選挙が次の日程で行われます。
●選挙の告示 平成29年1月5日(木)
●投票 平成29年1月22日(日)
●期日前投票 平成29年1月6日(金) ~21日(土)

●期日前投票所 中山町役場

立候補届出予定者説明会および 出納責任者事務説明会の開催について

上記選挙の立候補届出予定者説明会および出納責任者事務説明会が次の通り開催されます。
●日時 12月8日(木) 午前10時~
●場所 山形県庁1201会議室

※お問い合わせ先
県知事選挙、立候補届出予定者説明会および
出納責任者事務説明会の開催に関すること
山形県選挙管理委員会 ☎630-2081

期日前投票に関すること
中山町選挙管理委員会 ☎662-2111

「女性に対する暴力を なくす運動」 【期間：11月12日～25日】

DV(ドメスティックバイオレンス)、性犯罪、セクハラ等、女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決して許されない行為です。
相談してみることで解決方法が見つかるかもしれません。ひとりで悩まず、ご相談ください。
もしあなたの周りの人が悩んでいたら、相談できる場所があることを教えてあげてください。

DV相談ナビ ☎0570-0-55210

◆上記期間中、「パープルリボンプロジェクト in YAMAGATA」として、町立図書館ほんわ館にてパープルリボンバッジを配付します。
パープルリボンプロジェクトは、どこでも、誰でも、一人でも始められる国際的な女性に対する暴力廃絶運動です。ぜひご参加ください。

社会福祉協議会から

※お問い合わせ先
社会福祉協議会(保健福祉センター内)
☎662・4361

【歳末たすけあい募金にご協力ください】
町民の皆さんの善意が、地域の寝たきりのお年寄りや生活困窮者、施設利用者などへ届けられます。募金は任意ですが、計画的な事業推進のため1世帯につき300円以上のご協力をお願いします(集金方法は地区ごとに異なります)。

【心配ごと相談所を開設します】

●日時 11月30日(水) 午後1時15分 ~ 3時30分

●場所 保健福祉センター2階研修室
●相談内容 財産、相続、土地、金銭、家族問題など
◆先着5組。事前に申し込んでください。

【知的障がいのある方・療育手帳をお持ちの方対象のクリスマス会を開催します】

●日時 12月11日(日) 午前10時~午後2時
●場所 中央公民館第2研修室
●内容 軽スポーツ、ゲーム、昼食会等
●対象 町内で療育手帳をお持ちの方等(付き添いの方もご参加ください)
●参加費 200円/人

●申込期限 11月28日(月) まで

【おせち料理配達希望者募集】

●配達日時 12月16日(金) 正午~午後1時の間に配達します(不在の場合には食中毒防止のため配達しません。また、負担金は返金できません)。

●対象 75歳以上のひとり暮らし高齢者

●負担金 200円

●申込方法 ご希望の方は負担金を添えて11月25日(金) まで地区の民生委員に申し込んでください。

【大規模災害被災者支援義援金を募集します】

口座振込みのほか、町社会福祉協議会でも受け付けます。詳しくはお問い合わせください。

●鳥取県中部地震災害義援金

●募集期間 11月24日(木) まで

●義援金受入口座および口座名義人
▼山陰合同銀行湖山出張所(普通) 3607893、社会福祉法人鳥取県共同募金会会長清水昭允
▼鳥取銀行湖山支店(普通) 000389

1、社会福祉法人鳥取県共同募金会会長清水昭允
▼ゆうちょ銀行 00950・6・332033、鳥取県共同募金会鳥取県中部地震災害義援金 ※郵便局窓口での振込手続は、振込手数料が免除されます。
●義援金に関するお問い合わせ先 社

募集・案内

県知事選挙期日前投票所 投票立会人募集

※お申込み・お問い合わせ先
町選挙管理委員会事務局
☎662・2111

平成29年1月22日執行予定の県知事選挙における期日前投票所の投票立会人を募集します。

●応募資格 次の条件を満たす方。
中山町に住民登録があり、選挙権を有する方。
▼期日前投票期間中(平成29年1月6日~21日)、午前8時30分~午後8時の間従事できる健康な方。なお、従事中は原則として外出できません。

●従事場所 期日前投票所(役場内)
●報酬 1日当たり9500円(ただし1日当たり10円の源泉所得税を徴収します)。

●応募方法 町選挙管理委員会事務局(役場2階)で申し込んでください。
▼持ち物:印かん(認印可。ただし、スタンプ印は不可)

●応募期間 11月21日(月) ~ 30日(水) (応募者多数の場合は、期限前でも募集を打ち切ることがあります)
●その他 1日に従事する投票立会人

会福祉法人鳥取県共同募金会(☎0857・59・6350)

●岩手県台風10号大雨等災害義援金

●募集期間 平成29年3月30日(木) まで

●義援金受入口座および口座名義人

▼岩手銀行本店(普通) 2241853、社会福祉法人岩手県共同募金会岩手県台風10号大雨等災害義援金
▼ゆうちょ銀行 00130・2・387497、岩手県共同募金会台風10号大雨災害義援金 ※郵便局窓口での振込手続は、振込手数料が免除されます。

●義援金に関するお問い合わせ先 社会福祉法人岩手県共同募金会(☎019・637・8889)

山形市男女共同参画センター ファアラをご利用ください

※ご予約・お問い合わせ先
山形市男女共同参画センターファアラ
☎645・8077

【各種イベントのご案内】

会場はいつでも男女共同参画センターファアラ5階視聴覚室です。参加希望の方は電話で申し込んでください。
【イフジイ講座「けん玉を知ろう!」】
●日時 12月3日(土) 午前10時~正午
●講師 長井市地域おこし協力隊 秋元悟氏

は2名です。従事日は、応募の状況を見て調整します。

塩分減るしー 料理教室参加者募集

※お申込み・お問い合わせ先
町食生活改善推進協議会事務局
☎662・2836

●日時 12月12日(月) 午前9時30分~午後1時30分

●場所 保健福祉センター
●内容 講話と調理実習
●対象 町内在住60歳以上の方
●募集人数 20名程度
●持ち物 筆記用具、三角巾(頭にかぶるもの)、エプロン、参加費100円

●申込期間 11月15日(火) ~ 25日(金)
●主催 町食生活改善推進協議会

「人・農地プラン」更新に 向けた協議への参加者募集

※お申込み・お問い合わせ先
産業振興課産業振興G
☎662・2114

●日時 11月28日(月) 午後7時30分~
●場所 役場大会議室

●対象 町内の農地を所有または耕作している方およびその家族、農地を貸したいと考えている方、農業法人、新規就農者等
●申込期限 11月24日(木) まで

●対象・定員 祖父母と小学生の孫・先着15組

●持ち物 けん玉(貸けん玉あり)
【働く女性の講座「わだゆきこ流々生きる」を豊かにする働き方】

●日時 12月7日(水) 午後6時30分~8時30分

●講師 NOTHERdesign わだゆきこ氏
【市民企画講座「私の夢、そして、不治の病で逝った娘の願い」悲しみを乗り越えての起業】

●日時 11月28日(月) 午前10時~正午
●講師 着物のトータルプロデューサー 瀧田順子氏

●その他 詳細は実施団体・日常を拓くwoman・ナイン(古瀬☎090・7936・3142) まで

交通事故防止のポイント

【夕方】人も車も自転車も存在をアピール
☆買い物などは明るいうちに済ませる
☆車・自転車のライトは早めに点灯する
【夜】しっかり安全確認
☆ハイビームを活用する
☆スピードを控える
☆車が来たら道路を渡らない
夕方や夜間は
夜光反射材を活用しましょう



保健カレンダー

※保健事業に関するお問い合わせ先
健康福祉課 健康づくりG ☎662-2836

事業名	日時	場所	対象者等
母子手帳交付	11/22 (火) 9:00~10:00	保健福祉センター	母子手帳を交付し健康相談を行います(この日時で妊婦さんご本人の都合がつかない場合はご連絡ください)。 ●持ち物 印かん、妊娠届出書、個人番号が確認できるもの(個人番号カード、通知カード等)と本人確認できるもの(個人番号カード、運転免許証等)
育児相談会(予約制)	11/22 (火) 10:30~11:30	保健福祉センター	育児全般について、保健師または管理栄養士が相談に応じます。前日まで電話でご連絡ください。
定期健康相談	11/22 (火) 10:30~11:30	保健福祉センター	生活習慣病予防・健康診査に関する相談を行います。
乳児健診	11/30 (水) 3か月児 13:10集合 11か月児 13:00集合	保健福祉センター 検診ホール	平成27年12月・28年8月生まれの子どもと前回欠席の子ども ●持ち物 母子手帳、バスタオル、問診票、交換用おむつ、(11か月児は歯ブラシも)
もぐもぐごっくん教室	12/1 (木) 9:30集合	保健福祉センター 2階和室	平成28年4月~6月生まれの子どもと前回欠席の子ども ●持ち物 母子手帳、エプロン、おんぶひも ●内容 離乳食の進め方について、お話と調理実習

大人の風しん予防接種費用助成について

大人の風しん抗体価検査および予防接種について費用助成しています(要件に該当する方)。希望する方は町に申請が必要です。詳しくは、お知らせ版7月15日号をご覧ください。健康づくりGにお問い合わせください。

高齢者インフルエンザ予防接種

※接種費用の助成があります。接種希望の方は早めに予約してください。

直接医療機関に申し込んでください。

- 対象
 - ①接種日において満65歳以上の町民
 - ②接種日において満60歳から64歳の町民で、心臓、じん臓または呼吸器の機能に重度の障がいがある方(身体障害者手帳1級所持者)およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある方
- 助成額 期間内に1回あたり2000円
- 申込期間・接種期間 平成29年1月31日(火)まで
- ◆詳しくはお知らせ版10月1日号をご覧ください。

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種

※接種費用の助成があります。接種希望の方は早めに予約してください。

直接医療機関に申し込んでください。

- 対象
 - ①64歳以上で今まで高齢者肺炎球菌ワクチンを接種したことがなく、今年度町から個人通知が届いている方
 - ②接種日において満60歳から64歳の町民で、心臓、じん臓または呼吸器の機能に重度の障がいがある方(身体障害者手帳1級所持者)およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある方
- 助成額 4000円
- 申込期間・接種期間 平成29年3月31日(金)まで
- ◆詳しくはお知らせ版4月1日号をご覧ください。

感染性胃腸炎「ノロウイルス」に注意しましょう!

ノロウイルスが流行する季節の到来です。ノロウイルスは、手指や食品などを介して、経口で感染し、人の腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛、軽度の発熱などを起こします。感染症予防のために、こまめに手を洗いましょう!

「クリスマス婚活パーティ参加者募集」
①山形街づくりサポーターセンター(☎665・0357) ②12月11日(日)午後2時~6時30分 ③山形屋台村ほっとなる横丁 ④20歳までの独身男女(各64名、応募多数の場合は抽選あり) ⑤男性5000円、女性3000円 ⑥11月28日(月)正午まで申し込んでください。

- ①お問い合わせ先 ②とき
- ③ところ ④内容 ⑤対象・定員
- ⑥費用 ⑦申込方法 ⑧その他

その他団体等のお知らせ

ひまわりグラウンド・ゴルフ場
予約状況【11月15日~30日(10/28現在)】

期日	使用コース	時間帯
11/21(月)	Fコース	13:30~15:30

●全6コースのうち、上記のコースが大会などで独占して使用されますので、一般の使用ができません。
●独占使用の申請受付は使用日の1か月前で終了します。
※ご予約・お問い合わせ先
総合体育館 ☎662-2300

中山申請演会のご案内

- 日時 12月7日(水)午後3時30分~4時40分
- 場所 中山中学校
- 講演内容 「たくましくしなやかに生きるために~児童思春期における心の問題の理解~」
講師:若宮病院児童思春期外来 成重竜一郎氏
- 対象 教職員、保護者、一般町民
- 申込方法 11月28日(月)まで氏名、地区、電話番号を明記のうえ申し込んでください。
- 持ち物 内履き
- ※お申込み・お問い合わせ先
中山中学校 ☎662-2129
FAX 662-5043

青色申告決算説明会のご案内

①山形税務署個人課税第一部門(☎622・1611(内線142))
②・③の順に掲載 ▼営業所得:12月2日(金)午後1時30分~3時30分、中山町中央公民館第1会議室
▼農業所得:12月7日(水)午後1時30分~3時30分、山形農業協同組合(山形市旅籠町)2階大会議室
④青色申告決算の仕方、消費税の決算の仕方および年末調整の仕方 ⑧持ち物:年末調整関係書類、筆記用具。駐車場に限りがあるので、公共交通機関をご利用ください。

プロモーション事業のご案内

①東北文科大学/東北文科大学短期大学部(☎688・2298) ②11月23日(水・祝日)午前10時~午後3時 ③東北文科大学 ④タニタの健康セミナー、宮城マックスによる講演会と車椅子バスケットボール体験会、介護の魅力紹介、生活支援体験(車椅子キャンパスツアー・福祉レクリエーション・介護予防体操等) ⑥無料 ⑦電話または同大学ホームページから申し込んでください。

「なんでも労働相談ダイヤルのご案内」
①連合山形地域協議会(☎622・0551、622・0536) ②12月21日(水)・22日(木)午前10時~午後6時 ④相談内容は解雇、賃金カット、労働時間、残業、いやがらせ等労働に関わる相談など(電話による相談受け付け) ⑥無料

「フォークリフト資格取得技能講習のご案内」
①県シルバー人材センター連合会(☎626・3566) ②平成29年1月16日(月)~19日(木) ③建設業技能安全センター(寒河江市) ⑤55歳以上でハローワークカードをお持ちの休職中の方・20名 ⑥無料 ⑦12月22日(木)までハローワークまたはシルバー人材センターに設置の申込書により申し込んでください。

ご存知ですか?

山形県の最低賃金

- 効力発生日 平成28年10月7日
- 最低賃金 1時間 717円
- ☆この最低賃金は、県内で働くすべての労働者に適用されます。

※お問い合わせ先
山形労働局労働基準部賃金室 ☎624-8224
または最寄りの労働基準監督署まで

「かぼちゃ」を使った料理教室のご案内

- 日時 11月26日(土) 午後1時30分~3時30分
- 場所 中央公民館調理実習室・第3会議室
- 内容 ①かぼちゃの見極め術・活用術 ②かぼちゃを使った調理実習
- 持ち物 筆記用具、エプロン、三角巾、参加費300円(材料代として)
- 申込期限 11月20日(日)まで
- ※お申込み・お問い合わせ先
中山町お箸の会(池田) ☎662-6620